

講師を務めた阪本さん



思いやりの心大切に

城南中で「キッズサポート」

新宮市立城南中学校で21日、和歌山県警本部生活安全部少年課の阪本鈴代さんから2人を迎え、1年生45人を対象とした「キッズサポート」の授業があった。いじめについて考える機会として、毎年実施している。生徒らは積極的に手を挙げるなどし、授業に参加した。

パネルで講話が進められ、生きていく中で守らなければいけないルールや決まりについて触れた後、法律などについて学習。暴力を振るうと「暴行罪」や「傷害罪」の罪に問

われることや、いじめは「侮辱罪」となることの講話を聞いた。そういった罪で起訴となった場合の刑の重さを学習した。

次いで、スマホのSNSについての講話があった。LINEなどSNS上での誹謗中傷（ひぼううちゅうしょう）には「名誉棄損罪」などが適用されることを学習。また、写真など個人情報流出するものは載せてはいけないことなどの講話を聞いた。

生徒らは友達の気持ちを考えて、優しい心と思いやりを

県警本部から講師迎え

持つことの大切さを確認。また、いじめを見つけた場合、止める勇気と助ける勇気の必要性を学び、「人が嫌がるようなことはしないこと」の重要性を認識した。

最後は少年事件（犯罪少年・触法少年）処理の流れを聞き、罪を犯すどのようなことになるのかを考えた。

阪本さんはキッズサポートに対して「子どもたちに伝えていくことで思いやりの心を持つてもらい、健全な大人に成長してほしいという気持ちで取り組んでいる。立派な大人になってもらいたい」と話した。この授業は和歌山県全域で行われている。

（石垣さやか）



授業に積極的に参加した